

## 壱岐市、慶應義塾大学 SFC 研究所及びリクルート ヒトラボが連携して 『エンゲージメント コミュニティ ラボ』を始動

— これから求められる自律分散協調型社会を「エンゲージメント」の切り口で研究開発します —

壱岐市と慶應義塾大学 SFC 研究所 社会イノベーション・ラボ及び株式会社リクルート ヒトラボは、これまでの共同での研究成果をもとに、2022年10月27日、『エンゲージメント コミュニティ ラボ (以下、本ラボ)』を始動します。

本ラボは、人口減少時代への適応策として、また地域及び日本の持続可能な姿として「共創社会」を議題とし、その重要成功要因として「エンゲージメント」を切り口に、自律分散協調型社会における社会システムを研究開発することを目的としています。活動は、毎月の研究ミーティングやフィールド活動を基本に、オンラインツール等も活用しながら、エンゲージメントが醸成される社会への過程や方法について明らかにしていきます。また、適宜、実際の社会実装なども推進します。

本ラボは、様々な分野から同じ志を持つ30人が集まり、互いに学び合いながら、それぞれの取組を連携し、実現させていく共同体でもあります。そこで、「リアルな問い」、「多様な視点からの発想」、「現場での実践」を要点として、現実的な活動を行っていきます。

一極集中型社会から自律分散協調型社会への転換期に、様々な分野の組織が実際に集まり、横断的に研究することは、時宜を得た取組と自負しておりますので、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

### 1. エンゲージメント コミュニティ ラボの概要

(背景)

壱岐市はこれまで慶應義塾大学 SFC 研究所と「地域創生に関する研究開発の連携協力協定」(2019年10月1日)、株式会社リクルートと「新たな地域創生手法の確立を目的とした包括連携協定」(2020年1月10日)を締結し、壱岐市の未来に資する高度人材の育成を行う「壱岐なみらい研究所」を中心に、地域創生に関する研究を行ってきました。今回の取組は、その連携による研究成果をもとに実施するものです。

(参加メンバー)

26組織から30人が参加しています(2022年10月24日現在)。

- (1) 自治体：壱岐市(長崎県)、横須賀市(神奈川県)、東川町(北海道)等
- (2) 企業：リクルート、グロービス、電通、JAL、日本旅行、西松建設、長瀬産業等
- (3) 社団法人：日本経済団体連合会、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン等
- (4) 大学：慶應義塾大学 SFC 研究所、京都大学等

### 2. 第1回 エンゲージメント コミュニティ ラボ

日時：2022年10月27日(木) 15:00~17:00

場所：KUDANZAKA PORT PARK(東京都千代田区九段北1丁目14-6)

内容：エンゲージメントコミュニティについてのパネルディスカッション及び対話等

※取材に関する解説や質疑などの時間は16:45-17:15に設定いたします

<問合せ先>

■ 壱岐市東京事務所(担当：篠原、川添)

電話：03-5962-9906、FAX：03-5962-9907、E-Mail：[ikicity-tokyo@i.email.ne.jp](mailto:ikicity-tokyo@i.email.ne.jp)

■ 慶應義塾大学 SFC 研究所 社会イノベーション・ラボ(担当：菅井)

電話：03-4590-0444、FAX：045-330-4343、E-Mail：[si-lab@sfc.keio.ac.jp](mailto:si-lab@sfc.keio.ac.jp)

(配信元：慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当 E-Mail：[kri-pr@sfc.keio.ac.jp](mailto:kri-pr@sfc.keio.ac.jp))

■ 株式会社リクルート ヒトラボ(担当：中村)

[問い合わせフォーム](#)、E-Mail：[nakamurashunsuke@r.recruit.jp](mailto:nakamurashunsuke@r.recruit.jp)